

鳥取県建築士会 女性委員会

会員数72名 1992年設立

鳥取県ってどこ? どんなかわいいで! /

中国地方の鳥取県の東側、岡山県の北側に位置し、地形は犬の形に似ています。県の辺りが東部地域、胴体の辺りが中部地域、足と尻尾の辺りが西部地域、東に鳥取砂丘、中部に投入堂、西に大山、尻尾の部分の境港は、平成元年ごろからの地元の方々のまちづくり事業がのび、いまや「水スリッパロード」は全国からの観光客でにぎわい、今年3月からNHK朝の連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放送で、ますます商店街は活性化しています。小説ではありませんが、ウーのある鳥取県に来てほしい!! (来てほしい)



●鳥取県建築士会は東部・中部・西部の三支部のみ、女性建築士は30名に満たない会員数、日本一小さな委員会かもしれませんが、女性委員会は1992年に設立、初代赤山女性委員長のもとにスタートしました。粘り強い取組で、数々の活動を展開させています。●2006年10月28-27日、第43回全国大会を米子市にて開催。女性委員会は、「ふれあいの風フォーラム」を企画。まちづくりワークショップ等、二年間の準備を経て意気揚々と臨み、大成功。10月6日M7.3震度8の鳥取西部地震が発生、大会20日前の出来事でした。死者はなかったものの壊滅状態。建物倒壊等の大きな被害を受け、大会開催が危ぶまれたのですが、全国の方々の応援を得て成功させることができました。●2008年6月14-15日「平成20年度青年・女性建築士会全国ブロック鳥取大会」では、被災体験を生かして「今、私たちにできること-地域防災と建築士-」をテーマに掲げて開催。中四国各県から事前アンケートの協力を持って参加した「地域防災レポート」は評価のある資料になりました。●種やかではあります「防災からた」等のツールを使い、いのちを守ることや耐震の大切さを伝える地域への貢献を図っています。●女性委員会の18年間の活動も「あゆみ」と「写真」の一部を掲載しました。地域防災活動の詳しい内容は、月刊「建築士」2009年9月号特集「市民への防災意識の啓発活動」の中で山崎前女性委員長が「ゲームで防災まちづくり」にて報告しています。合わせてご一読ください。●活動を通して多くの方との出会いとさまざまな気づきと発見があります。今後、活動を継承し次世代へバトンを繋いでゆき、建築士としての役割を果たしてゆきたいと考えています。

地域実践活動

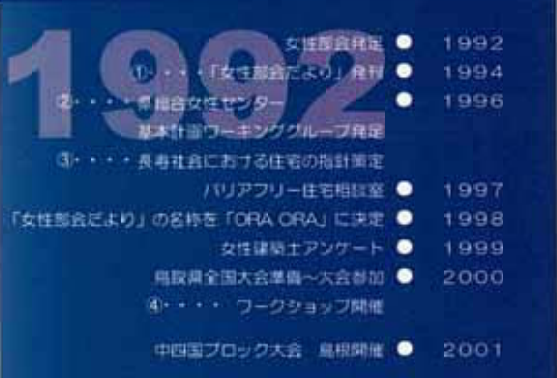


- ### あ・ゆ・み
- おもな
- 1992年4月1日★鳥取県女性委員会設立
 - 1994年12月8日★女性建築士懇談会「白鳥会館」
 - 1998年3月28日★講演会「ドイツのまちづくりについて」：「わらべ館」
 - 1998年12月12日★①女性建築士懇談会「倉吉センターホテル」
 - 1999年4月12日★平成11年度青年・女性建築士の集い中西国ブロック鳥取大会開催「温泉会館」Nとっとり「環境についてみんなで語ろう」=三朝町総合文化センター
 - 1999年7月18日★「商店街探検隊1回」米子加茂川周辺商店街300円お買い物
 - 1999年8月22日★「商店街探検隊2回」米子加茂川周辺商店街1000円お買い物
 - 1999年8月23日★「まちをイメージデザインしてみませんか」：鳥立博物館
 - 1999年10月30日★「商店街探検隊3回」ガリバーMAPを作ろう
 - 1999年11月28日★「商店街探検隊4回」探検隊「赤い」をゆく
 - 1999年12月12日★「まちをイメージデザインしてみませんかII」：新駅前地区商店街・鳥大共催
 - 2000年3月12日★「商店街探検隊4回」：プロデューサーたちの午後：環境公民館
 - 2000年5月14日★「商店街探検隊5回」：みんなにやさしい商店街
 - 2000年7月9日★「商店街探検隊特別版」：倉吉米子商店街 商店街を堂々にとらえて
 - 2000年7月15日★「まちをイメージデザインしてみませんかIII」：鳥取駅前広場・農工会館
 - 2000年★「赤い」未来日記：夢のまちにむかって：アンケート調査100人にききました
 - 2000年10月16日27日★第43回建築士会全国大会鳥取大会開催
鳥取の風フォーラム ふれあいの風～女性委員会が担当
「あつまつれ つわものども」まちづくりの心を育てよう：「米子コンベンションセンター」
 - 2002年11月23日★松江「カラコロ広場」：「堀川遊覧」見学会
 - 2003年11月26日★智恵館新築「石谷家住宅」見学会
 - 2004年10月24日★「木について」大山町赤松母樹林紀要
 - 2005年3月21日★「やすらぎの和紙と和紙」見学会・おおや和紙手遊び体験
 - 2005年11月3日★中国自国「燕趙園」見学・中国茶藝教室体験・中国芸術文化公演鑑賞
 - 2006年6月3日★「三徳山へ行ってみたら」文殊堂・地蔵堂公開見学会
 - 2006年9月9日★「木のお話しとDIY」：大山町の林業家清水氏の特別母樹林の探訪
 - 2007年4月21日★「鳥取砂丘・アジドーム・仁風閣」見学会「紙ぶるもをつくってみよう」
 - 2007年5月17日★防災出前授業「防災マップと紙ぶるもをつくってみよう」：米子市立就母小学校
 - 2007年7月23日★防災出前授業「紙ぶるもを体験と防災マップをつくらせよう」：鳥取市立福部小学校
 - 2007年9月30日★鳥取県総合防災訓練参加：応急危険度判定デモンストラレーション実施
 - 2007年11月5日★防災出前授業「まちを歩いて防災マップをつくらせよう」：倉吉市立成徳小学校
 - 2007年11月23日★住民参加WS「産野町まち歩き防災マップづくり」とD&Oをやってみよう。*環境大共催
 - 2008年2月5日★防災出前授業「紙ぶるもを作ってみよう」：倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2008年2月24日★住民参加WS「倉吉伝建地区防災マップ作り」：鳥短大共催
 - 2008年3月14日★住民参加WS「倉吉伝建地区防災マップ作り」Part2：鳥短大共催
 - 2008年11月23日★住民参加WS「産野町まち歩き防災マップづくり」とD&Oをやってみよう
 - 2008年4月1日★聖道町消防団と「防災マップ作り」
 - 2008年5月7日★男女共同参画と防災ワークショップ
 - 2008年6月14日11日★平成20年度青年・女性建築士の集い中西国ブロック鳥取大会開催
「今、私たちにできること」=地域防災と建築士=「とりぎん文化会館」
 - 2008年11月17日★「防災カルタ(読み札)を作ってみよう」：倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2008年11月22日★「鳥取市三町内会合同自主防災訓練」：「DIGと紙ぶるも」
 - 2008年11月17日★「防災カルタ(絵札)を作ってみよう」：倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2009年3月7日★「エコウィル研究会と料理タッチ＆トライ」
 - 2009年6月23日★鳥取市豊島地区防災研究会：「地域防災を学ぶ」=地域は一つの家族
 - 2009年8月21日★聖道町成徳地区保護者会学習会「防災マップ作りを通して地域のつながりを見直そう」
 - 2009年10月5日★「防災マップ作り」倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2009年10月19日★「防災マップ作りタウンウォッチング」：倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2009年11月1日★「防災マップ作り」倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催
 - 2009年11月15日★「防災マップ作り」：倉吉市立成徳小学校・鳥短大共催

(社) 島根県建築士会 女性委員会

会員数 70名 1992年設立

(社) 島根県建築士会女性委員会として発足以来18年が経ちました。建築業界が進化していく流れの中で、女性建築士として何が出来るのか、何をしなければいけないのか問い続けてきた18年。形の有無にかかわらず、多くの成果がここにあります。



① 1992年より形を変えながら、女性建築士の活動を紹介。女性ならではの手作り感と温かさを大切にしています



② ▲男女共同参画社会づくりの拠点施設県総合女性センター「あすてらす」。県からの依頼により基本計画ワーキンググループをに参加



⑤ ▲島根県からの委託事業として初年度は県内各地20回開催。住まいづくりやバリアフリーのポイント、住まいづくりの試練、維持管理などについて説明。一般の方々に女性の視点で住まいのあれこれについて解りやすく話しました

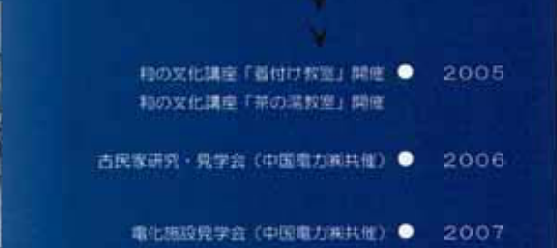


④ ▲ワークショップを開催。松江市内の看板、電線、道路の状況、安全で快適な街並み、環境について意見を交わしました



▲テーマは「アロマと建築のいい関係」。新たな知識習得と癒し効果でリッチな勉強会となりました

▲島根県「長寿社会の住宅設計指針」に編集協力
▼古民家勉強会の会場となった築250年の古民家、木の切出し時期や選び方などを学びました



⑦ ▲古民家研究・見学会(中国電力共催) 2006

⑧ ▲電化施設見学会(中国電力共催) 2007

⑨ ▲各種勉強会開催 2008
・アロマの勉強会
・畳の勉強会

⑩ ▲松江城天守と神護神社本殿 についての講演会
石見県立・電化研修(中国電力共催)

⑪ ▲各種勉強会開催 2009
・建築の勉強会
・広告物についての勉強会

⑫ ▲アロマと建築のいい関係
⑬ ▲アロマと建築のいい関係

⑭ ▲アロマと建築のいい関係
⑮ ▲アロマと建築のいい関係

⑯ ▲アロマと建築のいい関係
⑰ ▲アロマと建築のいい関係

⑱ ▲アロマと建築のいい関係
⑲ ▲アロマと建築のいい関係

- 女性部会発足 ● 1992
- ①・・・「女性部会だより」発刊 ● 1994
- ②・・・県総合女性センター基本計画ワーキンググループ発足 ● 1996
- ③・・・長寿社会における住宅の指針策定
バリアフリー住宅相応室 ● 1997
- 「女性部会だより」の名称を「ORA ORA」に決定 ● 1998
- 女性建築士アンケート ● 1999
- 県職員全国大会準備～大会参加 ● 2000
- ④・・・ワークショップ開催
- 中四国ブロック大会 島根開催 ● 2001
- ⑤・・・住まいづくり講座開催 ● 2002

⑥ 初回の文化講座「習付け教室」開催
初回の文化講座「茶の湯教室」開催

⑥ 各種勉強会開催 ● 2008
・アロマの勉強会
・畳の勉強会

⑦・・・松江城天守と神護神社本殿 についての講演会
石見県立・電化研修(中国電力共催)

⑧ 各種勉強会開催 ● 2009
・建築の勉強会
・広告物についての勉強会

⑨・・・アロマと建築のいい関係
⑩・・・アロマと建築のいい関係

⑪ 中四国ブロック大会 島根開催 ● 2010

⑫ ビーチバレーにも参加!



⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

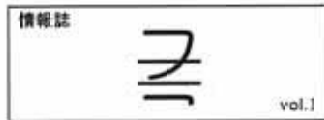
岡山県建築士会 女性部会（委員会）

会員数153名 1995年設立

1995 女性部会設立

- 富田玲子氏による設立記念講演がおこなわれました
- 女性部会員情報誌「フフ」創刊（現在vol.68）

OKAYAMAKEN KENTIKUSIKAI JYOSEIBUKAI



1997～2001

- 「夏休み子ども絵マップコンクール 第1回～第5回」



2007

青年・女性建築士の集い中四国ブロック
岡山大会開催

飛び出せ建築士

自分の版を脱ぎ捨てろ！まちへ、人へ、そして未来へ

- 女性部 第4分科会
くらしき“天領のあかり今昔”
～未来に継ぐ伝建地区の町づくりを考える～



2005～

「建築士と市民を結ぶプロジェクト」始動
～あなたの隣の建築士～

- 2005 ● 岡山県消費生活者センター 建築相談員として参加
- 2006 ● リフォームに関するアンケート実施
- 2007 ● 「快適な住まいを考えるリフォームセミナー」実施 全4回
- 2008 ● リフォームセミナーの内容をまとめた「リフォームの手引き」冊子配布
 - 「熟年世代の住まいと暮らし」に関するアンケート実施
- 2009 ● 「今から考える熟年の住まい」セミナー実施 全4回
- 2010 ● 「若い世代の暮らしと住まいのアンケート」実施

1997 全国女性建築士連絡協議会 岡山大会開催

大会テーマ：「安全に健やかに住み続けられる居住環境」
～健康住宅と女性建築士～



全国女性建築士連絡協議会
岡山大会



岡山県初代女性部長
山本幸子氏

2004 女性部会設立10周年

- 10周年記念事業 公開シンポジウム開催
テーマ：「健康で快適な住環境を求めて」
～女性建築士が果たす役割とは～



2005年からはじまった、「建築士と市民を結ぶプロジェクト」
社会のニーズと課題を掘り下げて、私たち女性部会の取り組みはこれからも続いています。

岡山県建築士会 女性部会 H.P. fufu*web http://www.geocities.jp/fufu_web/

広島県建築士会 女性部会
 会員数 131 名 1989 年設立

広島からヒロシマ、そしてひろしまへ
歩いて さがそう 未来のひろしま

はじめに

昨年平成 21 年、広島市より「広島平和記念都市建設法制定 60 周年記念事業」のひとつとして子どもを対象とした事業の企画・運営の依頼がありました。そこで私たちは「広島平和記念都市建設法」の成り立ちやそれに基づいてつくられた街を学ぶと同時に、将来を担う子供たちに自分達の街に少しでも興味を持ってもらいたいと考えひろしまの街をめぐるウォークラリー（以下 WR）を行うこととしました。

主催：広島市・(社)広島県建築士会
 会場：広島市まちづくり市民交流プラザ
 平和記念公園から平和大通り・並木通り周辺
 日時：平成 21 年 8 月 23 日(日)12:30～17:30
 参加者：小学生 37 名・中学生 1 名
 10 グループ

第一部
 学ぶ

《広島市の街の過去を学ぶ》 12:30～

昭和 24 年に施行された「広島平和記念都市建設法」を映像と会話形式のナレーションで解り易く説明し、大正時代から戦前までの「広島」、原爆の被害を受けた昭和 21 年の「ヒロシマ」とその復興を映像で紹介しました。



第二部
 歩く

《広島の今を体感する》 12:55～

WR でさすが 10 のポイント今の広島に残る「広島・ヒロシマ」をクエスト形式で出題。

昭和 4 年の「広島」と今の「広島」の地図を見比べながら、子どもたち自身でクエストポイントを選び、80 分以内で選べるルートを検討し、決まったチームから出発。



昭和 04 年の広島地図



今の広島地図



第三部
 考える

《広島市の未来を考える》 15:20～17:30

実際に選んだルートをもう一度地図に書き込み、写真や色紙を使ってパネルを作成。最後に、今も変わりつつある広島市の街を映像で紹介し、『君達こそが広島市の未来をつくる主役』とメッセージを送って WR を終了しました。



成果

WR後のアンケートでは「楽しかった!」という感想が多く見られるなか、「学校で習わないことが学べてよかった」「もっと広島について知りたい」「未来のこともなんとなくわかったような気がした」「ぼくたちが未来を考えないといけないと思った」という意見があり、私たちが伝えたかったことをしっかりと受け止めてくれました。またイベント後に、学んだことを家族で話したり、家族と一緒に改めてまちの探検をした子どももいました。広島のみちについて考えてくれるきっかけをつくることができたようです。



山口県建築士会 女性委員会

会員数 178名 1992年設立



女性建築士による

住まいづくり塾

House
Planning
Seminar
2010.01.24-31

昨今の情報化社会のなかで一般消費者の皆さんは、“家”に関しても様々な知識をもっています。“家”という商品についての知識ではなく、「住まいをつくる」ための情報を一般の方に提供していきたいと考えました。

「住まいをつくる」・・・その過程で欠かせない私たち建築士が講師となり、2日間にわたって「住まいづくり」セミナーを開催しました。

1日目 住まいづくりのこと教えちゃいます！



？どこに頼めばいいの？

ハウスメーカー、工務店、設計事務所、いろいろあるけど、
住まいづくりをどこに頼んだらいいの？
メリット、デメリットを含めてそれぞれの違いを解説

？どうやって出来るの？

- 1) 設計から工事監理の流れ
- 2) 実際の家づくり（工事）の流れ
家づくりの基礎知識～地盤、構造、断熱～などの話を
繰り込みながら・・・

？どんな材料があるの？

実物サンプルを使いながら、内装材の種類、特徴を解説。
シックハウスとは？

最後にわたしたち建築士による建築事例の紹介



2日目 理想の住まいのプランをつくってみましょう！

どんな家に住みたいですか？どんな暮らしをしたいですか？単に間取りを考えるだけでなく、ライフスタイル、ライフステージを考えながら理想の住まいをイメージして下さい。そのイメージをもとに実際にプランをつくってみましょう！



家族の気配が感じられる家がいい、ガレージのある家がいい、
デッキがあるといいな、子供部屋は将来どう使う？etc.
女性建築士のアドバイスのもと、平面パーツを試行錯誤しながら
組み合わせてプランをつくります。
家具、植栽、人物パーツなども貼り付け、完成です。



完成プランの発表会。個性溢れる作品がたくさん出来ました！



新婚家庭の希望盛りだくさんのプラン



家事動線重視プラン



中庭のある伸びやかなプラン

参加者からは、具体的な回答をその場で聞けるのでとてもわかりやすかった、話し合いをしながらつくっていくのがとても楽しかった、家に対する具体的なイメージがわいてきた、はやく自分の家が建てたくなった、などの感想が寄せられました。参加者の皆さんに「住まいづくり」の楽しさを伝えることが出来たと思いますし、わたしたち「建築士」の存在を身近に感じてもらえたと思います。今後は、このセミナーを発展させながら継続していきたいと考えています。

徳島県建築士会 女性部会
 会員数 90名 1983年設立

建物見学会

徳島県建築士会女性部会では、建築知識の学習と会員相互の交流を目的に、「建物見学会」を行っています。

平成 21 年度は、9 月 26 日、京都へ。世界遺産の「二条城」や、今回のメインである「葎屋町の町屋」などを見学しました。新しく建て直した方が容易で費用もかからないのに、あえて古い建物を再生する意義。先人の想いと技を伝えようとしている姿勢に感激しました。



地域でのイベント

平成 21 年度、徳島県建築士会女性部会では、地域貢献と建築士会活性化を目的に、「LED de ものづくり」と「お菓子の家をつくろう！」という地域の子どもたちが参加できる、ものづくりイベントを行いました。



この2つのイベントは平成 22 年度も行います。



2009年 6月13日(土)

LED

Light emitting diode
 de ものづくり
 with 地域の子どもたち



目的

徳島市内商店街の空き店舗を利用し、LEDものづくりイベントを行いました。

このイベントは、徳島県が掲げている『LEDパレイ構想』における「LEDの県民への普及促進」や、イベントを通じた市街地活性化も視野に入れ、建築士と市民の触れ合いの場づくりとして企画しました。



成果

参加者は 44 人で、最年少の 3 歳から 60 歳代までの幅広い年代の方に、思い思いの作品づくりを楽しんでもらうことができました。



2009年 11月28日(土)
 お菓子の家をつくらう!



目的

徳島県女性部会では、これまで、徳島県内の学童保育の調査を行い、保育所の建築に携わったりして、子ども達の住空間に対する問題点の指摘と改善を進めてきました。

これからは、子ども達が、住まいについて興味を持ち、楽しく学べるような場を提供したいと考え、「お菓子の家づくり」を企画しました。



成果

小学生 22 人と飛び入りの大学生 2 人に参加していただき、家づくり、ものづくりの楽しさを体験してもらうことができました。



香川県建築士会 女性委員会

会員数110名 1990年設立

平成21年度は青年・女性建築士の集い中四国ブロック香川大会の年であった。

香川県のまちの表情は、戦後の著名建築家、丹下健三・大江宏・芦原義信・大高正人などの近代建築と、ジョージ・ナカシマ・剣持勇らの家具、イサム・ノグチ・流政之などの彫刻作品等が調和してつくっている。香川県には、日本のモダニズム建築・D O C O M O 100選の香川県庁舎（現・香川県庁舎東館）・百十四銀行本店・坂出人工土地の3つがある。経済効率、耐震性などの理由により取り壊しの危機を迎えているモダニズム建築が数多くある中、これらの建築物は香川という地域の中で、地域それらの建築物等を中心とした「香川県の建築マップ」を作り、中四国ブロックの青年・女性建築士と、一般参加の県民と共に知って・感じて・考える大会となった。

この大会により生まれた女性委員会の会員相互の、また青年委員会との連携の広がりが、重層的な和となって日常の業務の中にも生かされていくことと思う。



○一般市民・県民に建築士を知ってもらう

・香川県の「09香川まちめぐり・てくてくさぬき」に協力し、「香川県庁舎旧本館と周辺の近代建築」を県民と共に歩き、近代建築と一緒に知って・感じて・考えた。建築士というものを一般県民に広く知ってもらう機会になった。



・地域材の利用促進と森林整備の推進を図るため、香川流域森林・林業活性化センター及び徳島県吉野川（三好）流域林業活性化センターに協力して、一般市民向けに木造住宅の無料相談会を実施している。この住宅相談から、地域材を使った住宅



○建築士として地域を知る

身近な自然素材を建築素材として活かし、高温多湿な気候・風土にも適応している「奥祖谷の集落と民家」「土佐・奈半利と吉良川の古民家の街並み」などを探訪・見学し、現代を生きる我々にとっての心地よい住まいのあり方を模索している。他県の建築士会の方々との交流もあった。



○建築士としての学習会

地域材の利用（森林整備・間伐材の利用）促進のための木造住宅の学習会を行った。快適な木の住まい・自然素材の家づくりの設計をされている三澤文子氏と三澤康彦氏を迎えて「木構造をふまえた住宅のプラン・デザインのあり方」の学習会を

○今後の課題

発足当初、30数名で産声を上げた会も4倍弱の人数に増え、その間、常任理事会、全国女性建築士連絡協議会への参加と活動の場は広がったものの、委員会事業へ参加する顔ぶれはよく似ており、育児、家事、介護、仕事と忙しい中、如何にこの人数を増やしていくかが課題である。

又、全会員数の6%しか女性メンバーはおらず、会員数の増強も今後の課題である。

今年、20年を迎え続けた女性委員会である。今後も魅力ある内容で更なる活動の場を広げて行きたいと思う。

(社) 愛媛県建築士会 女性委員会

現在、4つの継続的な勉強会等を中心に委員会活動を展開しています。
 今後の課題は私たちの活動を社会貢献につなげること。
 昨年はブログ (<http://hime21.exblog.jp/>) を立ち上げました。

照明勉強会

- 第1回 H16.11 住まいの照明（ひかりと健康）
- 第2回 H17.11 LED発光ダイオードの住宅照明への応用
- 第3回 H18.11 間接照明の使い方
- 第4回 H19.11 エネルギーと明るさの関係（祝谷山・常信寺）
- 第5回 H20.7 LED照明
- 第6回 H21.8 LED照明（その2）
- 第7回 H22.8 予定



担当者コメント：
 照明勉強会も早いもので今年第7回を迎えます。
 最初は女性委員会のメンバーだけでスタートしましたが、
 青年部をはじめ会員はもとより、一般の方にも開放して
 オープン参加にしています。

いつもながら照明計画の重要性を感じながらも、
 最近照明業界もCO2削減という環境問題の取り組みから、
 LEDの普及が進んでいます。
 LEDの技術は急速に進歩しつつありますので、
 常に情報から目が離せないところです。
 このような勉強会を継続していくことで、会員の皆様の
 今後の仕事に役立てて頂けたらと思います。



造園勉強会

- 第1回 H19.1 「緑の空間について」
- 第2回 H19.10 「樹木とのふれあい」
- 第3回 H20.5 「住宅の緑と園芸」
- 第4回 H21.6 「夏の剪定の基礎知識、松の剪定実習」
- 第5回 H22.12 予定「門松づくり」



担当者コメント：
 近年建物と緑の関係が変わり始めています。
 これからも、技術・教養の向上を図るため、
 一般の方とともに勉強会を開催して、自己研さんします。

- 建物と緑の関係は
1. 遮し効果・・・生活者のストレスをやわらげる。
 2. 保護効果で耐久性・・・建物を紫外線から防ぎ、その保護効果により、耐久性が向上する
 3. ヒートアイランド・・・緑化された屋上から水分が蒸発することで冷却効果をもたらす。

異業種勉強会

- 第1回 H17.6 総務部長元（春秋寮）工藤省治
- 第2回 H17.7 タレント・車 だん吉
- 第3回 H17.12 洋画家 折笠静之
- 第4回 H20.9 フリーアナウンサー 坂本由美
- 第5回 H22.1 女性ソムリエ 二瓶由佳



担当者コメント：
 今まで、建築士だから・・・建築の勉強会、講演会などを自然のように学んできました。
 しかし、それだけでいいのだろうか？ 他の分野はどうなんだろう？ という思いから
 「異業種に学ぶ！」が始まりました。
 目的は、様々な職種の建物を手掛ける者として、
 1. 異業種方々の話しの中から、その生活空間を読み取ること。
 2. 異業種の方々はどのようにして自分の技術を高めているかを知ること。
 3. 他人との接し方を皆で学習することです。
 この勉強会によって、各々が何かを感じ、学び、今後の建築の仕事に無駄なく生かされることと思います。



県内見学会

- 第1回 H18. 今治見学会（今治城、大三島とこころミュージアム）
- 第2回 H19 宇和島見学会（国安の郷、宇和島市立病院新築披露）
- 第3回 H20 西予見学会（和み館、末光邸）
- 第4回 H21 新居浜見学会（広瀬記念公園、瑞穂寺）

東予、中予、南予と長い愛媛県。いつもは松山（中予）に集合しますが、
 ときどきは東予や南予に集合して、地域の会員と交流したり、建物や街並
 みの見学会などを開催しています。



担当者コメント：
 地方の古建築から先人の知恵と技を学び、現代に生かしていく事が出来ればと企画しました。

高知県建築士会 女性部会（委員会）

会員数 92 名 1991 年設立

…いたわり相談 PR ハガキ…

高知桜ライオンズクラブが主催する桜基金に応募し、いただいた基金で PR ハガキを作成し、県内の医療機関や福祉施設に配布しています。



1995 年度に社会貢献活動を目的として、女性部会内に誕生。以来、ハンディーキャップのある方のための住宅についての勉強会、見学会、講習会などを開催。「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」づくりにも協力。

…出張相談…

お祭りやイベントにあわせ、いたわり住宅研究会の PR や出張相談をしています。カルチャー教室で建築の基礎知識・耐震・リフォームの講習会をしています。



…相談窓口…

（木と人出会い館）

2003 年度より、毎月第 4 土曜日に中心市街地の会場を借りて高齢者や障害者の住宅相談を行っています。



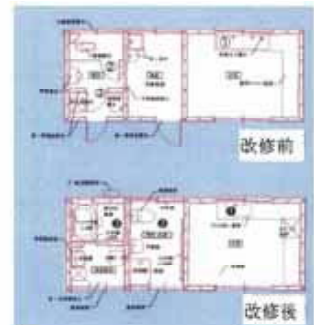
事例 1（新築）

地方都市の NPO 法人より相談を受け、小規模多機能福祉施設を設計しました。



事例 3（改修）

昭和 30 年代に建築された診療所併用住宅。思い出の多い診療所を介護中心の生活しやすい住空間に改修しました。



事例 2（用途変更）

築 35 年の増改築を繰り返した住宅に耐震補強を施し、デイサービス施設にしました。

改修前



改修後



● そ の 他 の 活 動 ●

…定例会…

青年部会と女性部会が合同で行っている月に 1 度の定例勉強会で、年に 2 回女性部会が担当するときは、普段見る事のできない建物等の見学会や、いたわり住宅研究会の活動の発表等を企画しています。



…新春会…

毎年、会員の親睦と異業種交流、会員増強を目的に女性のみの新春会を開催しています。30 名程度の参加があり、講演会なども行い楽しい時間をすごしています。

